

# 鳥取の「国際まんが博」がたけなわ!!

## 米子で「国際マンガサミット鳥取大会」!!

11月7日(水)～11日(日)は

「まんが王国とっとり」を掲げ、11月25日(日)まで「国際まんが博」が行われている鳥取県。8月に開幕した同博は、今まさにたけなわです。11月7日(水)～11日(日)には、13回目を数える「国際マンガサミット」を、鳥取大会として同県西部の米子市で開催。この秋は、県内で最もアツい米子市に注目です。

### 「一般公開もある サミット(国際会議)!!」

中心市街地の目抜き通りや郊外のコンビニエンスストアの軒先、街のあちこちでのぼり旗がはためき、「国際まんが博」の文字が躍ります。同博の開幕から3カ月。米子市コンベンションセンター(末広町294)で行われる「第13回国際マンガサミット鳥取大会」は、そのクライマックスとなりそうです。期間中、東アジアで活躍する漫画家を中心に各地域から約400人が集結。日本での開催は4度目で、今回の鳥取大会では「食のみやこ鳥取県」らしく「食」と「海」をテーマにマンガを通して世界の食文化などを考えます。

ここまで聞く限り、一般の人には縁遠そうですが、そこは「マンガサミット」。今回は、初めて一般公開されるシンポジウムやフォーラム(共に8日(木))もあり、ちばてつやさんや里中満智子さんをはじめ、各国の著名漫画家の生の意見を聞くことができるのです。もちろん、「サミット(国際会議)」の会場にいられるプレミア感も見逃せません。



**同時開催 「第二次 米子映画事変」**  
米子市出身の赤井孝美監督が、同市で特撮映画「ネギマン」を撮影。11月11日まで上映中。特産の白ネギのヒーロー、市民が出演という、まさにメード・イン・米子!

### おなじみの漫画で世界にアピール!

日本では過去、東京や福島、横浜、京都で開催され、多数の作品を紹介。今回、水木しげるさん(ゲゲゲの鬼太郎)、青山剛昌さん(名探偵コナン)ら同県出身の漫画家の作品はもちろん、名作が満載です。



©水木プロダクション、©ちばてつや、©倉田よしみ、©里中満智子、©木村直巳、©TEZUKA PRODUCTIONS、©矢口高雄、©土山しげる、©かわむらちがい、©御茶漬海苔、©日野日出志、©青山剛昌/小学館、©谷口ジロー/小学館、©モンキーパンチ、©左近士録、©セック録、©志賀公江

### 同時開催 「とっとりまんが ドリームワールド」

「国際まんが博」の「とっとりまんがドリームワールド」は移動式で行われています。11月11日までは米子市民体育館が会場。グッズショップや食のコーナーなど内容充実!



### 憧れの漫画家との触れ合いも! 併催イベントめぐる押し

「国際マンガサミット鳥取大会」に合わせて米子市へ出掛けるなら、併催イベントもチェックしておきましょう。例えば、同時開催になる「まんが王国とっとりフェスタ」は、「プロの仕事場」と銘打った公開アトリエや漫画家のサイン会(共に7日～11日(予定))、トークショー(10日(土))が行われる話題のイベント。特に公開アトリエのことは、同サミット実施本部の伊澤晃さんも興奮気味に話していました。「文字通り掲載予定の原稿の制作現場が見られます。ここで描かれた原稿が実際に作品になるんです!」

この他「ポップカルチャーフェスティバル」(1日(木))～13日(火)や、「ネギ来(らい)まつり」(3日(土・祝))、4日(日)など同市内で多彩な催しを開催。この時季なら、サルビアが見頃を迎えた国内最大級の花のテーマパーク「とっとり花回廊」(西伯郡南部町)へ足をのばすのもお勧めです(11面に入園券プレゼントあり)。

## 楽しみ尽きない秋の米子滞在

「国際まんが博」「国際マンガサミット鳥取大会」とともに、秋の米子は楽しみがいっぱい。ここで紹介する3つは、米子の旅をより充実したものにしてくれるはずですよ。

**News**  
11月6日(火)に松葉ガニ解禁!!

山陰の冬の味覚を代表する松葉ガニが、11月6日にいよいよ解禁。鳥取県は、冬も目が離せません!!

**土産に!**  
「弓浜餅」の藍染めの小物

伯州綿の産地、弓ヶ浜半島で根付く「弓浜餅(ゆみはまがすり)」。藍染めの木綿の餅は、土産として最適です。

**アクセス**  
【電車】JR名古屋→(新幹線)→JR岡山→(特急やくも)→JR米子(約4時間)  
【車】小牧IC→(名神高速道路や米子自動車道)→米子IC下車、米子市へ(約400km)  
**問い合わせ**  
鳥取県名古屋代表部  
(中日ビル4階 電話052-262-5411)  
<http://www.pref.tottori.lg.jp/nagoya/>

**コハクチョウが飛来「米子水鳥公園」**

西日本で指折りの野鳥の生息・飛来地である湿地公園です。コハクチョウの西日本最大の集団越冬地としても有名で、その姿を楽しめるのは例年10月中旬から翌年3月下旬まで。公園を飛び立つ姿は圧巻の一言です。

**ベニズワイガニ丸ごと!「新かにめし」**

鳥取グルメといえば、カニ。お隣の境港まで足をのばせば、名物「新かにめし」が待っています。ベニズワイガニを丸ごと1杯使い、酢飯や地場産食材と一緒に紙で包み、蒸し上げた逸品を、ぜひ堪能あれ!!

**山陰の名湯「皆生(かいげ)温泉」**

「美肌の湯」としても知られる山陰屈指の名湯は、宿泊先の一番手。皆生海岸遊歩道に登場した、「因幡の白ウサギ」など鳥取にまつわる神話が題材のブラックライトアートもお見逃しなく(11月30日(金)まで)。